

平成26年度地域緩和ケア推進事業

在宅緩和ケア講演会

がん患者さんが住み慣れた自宅での療養を希望し、その人がご家族とともにその人らしく最期の時を過ごすには、どのような支援が必要か、また支える人たちのあり方について等、在宅ホスピスの先駆者として知られる内藤いづみ先生にご講演していただきます。県民の皆様の、多数のご参加をお待ちしております。

入場無料

日時 平成26年**9月20日** 日 田 14:00～16:00 (予定)

場所 **広島国際会議場 ヒマワリ**
広島市中区中島町1番5号

テーマ 『**最高の一日、最良の最期**
～在宅ホスピス医のみた命の輝き～』

講師 ふじ内科クリニック院長
日本ホスピス・在宅ケア研究会理事

内藤 いづみ 先生

座長

広島県緩和ケア支援センター長
本家 好文

後援

広島県医師会 (予定)、広島市医師会 (予定)、
広島県歯科医師会 (予定)、
広島県薬剤師会 (予定)、広島県看護協会 (予定)



プロフィール

1956年山梨県に生まれた内藤いづみ先生は、福島県立医科大学卒業後、東京女子医科大学内科などに勤務、その後主人の仕事の関係でイギリスに渡られました。1986年から1992年にかけてプリンス・オブ・ウェールズホスピスで研修を受け、帰国後1995年山梨県甲府市にふじ内科クリニックを設立し、山梨県内を中心に、在宅ホスピス医として活動されており、近著に『最高に幸せな生き方死の迎え方』(講談社2003年)『あなたを家で看取りたい』(ビジネス社、2003年)などがあります。



※ 駐車場はありません(公共交通機関をご利用ください)

事前申し込み不要

お問い合わせ

**広島県緩和ケア支援センター
緩和ケア支援室 (県立広島病院)**

〒734-8530 広島市南区宇品神田1-5-54
TEL: (082) 252-6262 (直通)

